

第6回21世紀出生児縦断調査結果の概況

目 次

調査の概要	1ページ
結果の概要	
1 家族の状況	
(1) きょうだいの構成	3
(2) 保育者	3
(3) 母の就業状況	4
2 子どもの生活の状況	
(1) 起床・就寝時間	6
(2) 遊びのようす	8
(3) 習い事	10
(4) テレビ	11
(5) コンピュータゲーム	13
(6) 子どもの接し方	15
(7) 子どもの行動	15
(8) 手伝い	16
(9) 病気やけが	17
3 子育ての意識	
(1) 父母の子どもとの接し方	18
(2) 食事時に特に気をつけていること	19
(3) 子どもを育てていてよかったと思うこと	19
(4) 子どもを育てていて負担に思うことや悩み	20
(5) 子育て費用	23
統 計 表	25
用語の定義	36
調査項目一覧	37

第6回21世紀出生児縦断調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

厚生労働省ホームページ(URL) <http://www.mhlw.go.jp/>

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡調査する縦断調査として、平成13年度から実施を始めた承認統計であり、21世紀の初年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

2 調査の対象

全国の2001年1月10日から17日の間及び7月10日から17日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

3 調査の時期

1月生まれば平成18年8月1日、7月生まれば平成19年2月1日（対象児の年齢 5歳6か月）とした。

4 調査事項

(1) 家族の状況

同居者、保育者、父母の就業状況

(2) 子どもの生活の状況

起床・就寝時間、遊び場所、遊び相手、遊びで気にかかること、習い事の状況、テレビを見る時間、コンピュータゲームをする時間、子どもの接し方、子どもの行動、手伝い、病気やけが

(3) 子育て意識

父母の子どもとの接し方、食事時に特に気をつけていること、子どもを育てていてよかったと思うこと、子どもを育てていて負担に思うことや悩み、子育て費用

※第1回調査から第6回調査までの調査項目については、37 ページ「調査項目一覧」を参照。

5 調査の方法

調査票の配布及び回収は郵送により行った。

6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は以下のとおりである。

	1月生まれ			7月生まれ			合計		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
第1回	26,620	23,423	88.0%	26,955	23,592	87.5%	53,575	47,015	87.8%
第2回	23,391	21,923	93.7%	23,575	22,002	93.3%	46,966	43,925	93.5%
第3回	23,374	21,365	91.4%	23,523	21,447	91.2%	46,897	42,812	91.3%
第4回	22,439	20,699	92.2%	22,398	20,860	93.1%	44,837	41,559	92.7%
第5回	21,735	19,824	91.2%	21,824	19,993	91.6%	43,559	39,817	91.4%
第6回	21,020	19,154	91.1%	21,167	19,381	91.6%	42,187	38,535	91.3%

7 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
比率が微少（0.05未満）の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

結果の概要

1 家族の状況

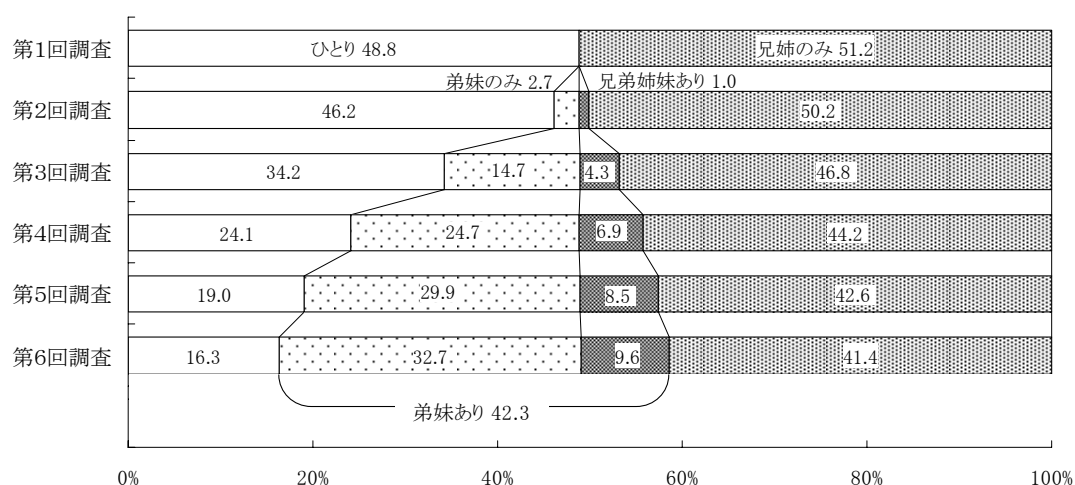
(1) きょうだいの構成

「弟妹あり」は4割を超えた。

きょうだい構成の変化をみると、第1回調査時（月齢6か月）に「ひとり」は48.8%、「兄弟のみ」は51.2%、第6回調査（5歳6か月）では「ひとり」16.3%、「兄弟のみ」41.4%となっている。年を重ねるごとに弟妹が生まれ、第6回調査では「弟妹あり」が42.3%となっている。

(図1)

図1 きょうだい構成の変化



注：第1回調査から第6回調査まで回答を得た、きょうだい構成の「不詳」を除く者(総数 35,632)を集計。

(2) 保育者

ふだんの保育者は「保育士等・幼稚園の先生」が97%

ふだんの保育者（複数回答）をみると「保育士等・幼稚園の先生」は97.0%で最も多く、第5回調査（4歳6か月）と比較すると6.7ポイント増加している。次いで、「母」は91.0%となっており、第5回調査と比較すると差は少ないが、第1回調査と比較すると6.5ポイント減少している。（表1）

表1 ふだんの保育者（複数回答）の変化

(単位:%)

	総数	ふだんの保育者(複数回答)										
		母	父	祖父母	祖母		祖父		幼保 育士 の等 先 生	保 育 士 等	の 幼 稚 園 先 生	そ の 他
					母方	父方	母方	父方				
第1回調査 総数	100.0	97.5	48.4	21.8	21.2		9.5		3.5	3.5	•	2.0
第2回調査 総数	100.0	95.7	50.5	27.1	15.1	12.7	5.8	5.6	18.0	18.0	•	2.3
第3回調査 総数	100.0	93.4	45.4	26.1	14.6	12.1	5.7	5.1	25.6	25.6	•	2.3
第4回調査 総数	100.0	92.3	44.8	24.1	13.3	11.1	5.3	4.8	49.7	33.2	16.6	1.7
第5回調査 総数	100.0	90.9	47.0	23.9	13.3	11.0	5.4	5.0	90.3	39.3	52.0	1.7
第6回調査 総数	100.0	91.0	47.8	23.7	13.0	10.9	5.8	5.0	97.0	37.9	59.7	1.6
1月生まれ	100.0	91.2	47.6	24.0	13.3	10.9	6.0	5.0	99.0	36.6	62.9	1.7
7月生まれ	100.0	90.8	47.9	23.3	12.7	10.9	5.6	5.1	95.0	39.1	56.5	1.5

注：1) 第1回調査から第6回調査まで回答を得た者(総数 35,783)を集計。

2) 総数にはふだんの保育者の「不詳」を含む。

3) 「保育士等」には「保育所・託児所の保育士など」「保育ママさんやベビーシッター」を含む。

(3) 母の就業状況

ア 就業の有無

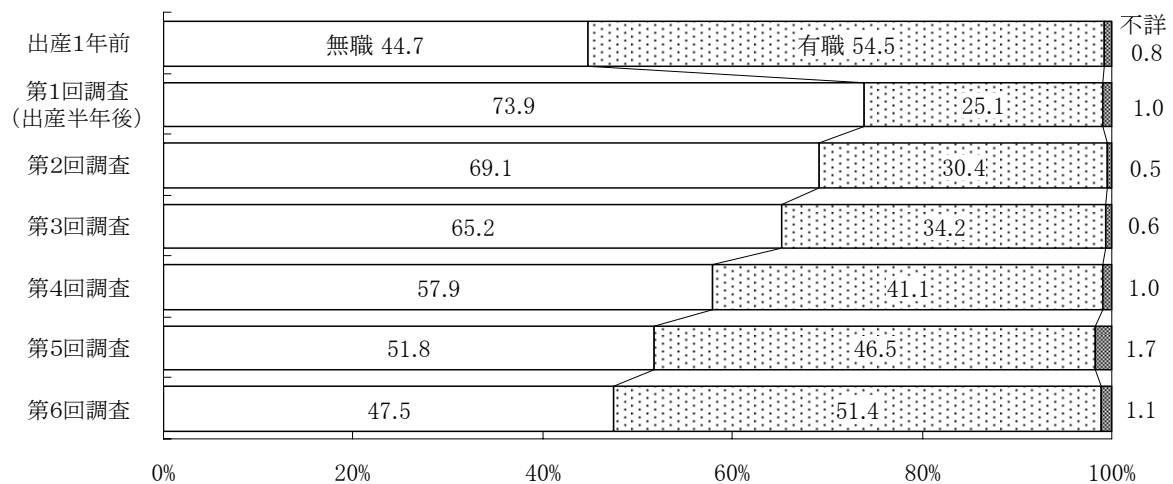
母が有職の割合は5割を超えた。

出産1年前に54.5%であった母の「有職」の割合は、第1回調査（出産半年後）で25.1%と減少したが、年々増加して第6回調査では51.4%となり、出産1年前に近づきつつある（図2）。

弟妹の有無別に母の就業状況をみると、「有職」の割合は「弟妹なし」で59.4%となっている。

さらに、弟妹がいる場合の末の弟妹の年齢別にみると、年齢が高いほど「有職」の割合が高くなっている。（表2）

図2 母の就業の有無の変化



注：母と同居している、第1回調査から第6回調査まで回答を得た者(総数 35,361)を集計。

表2 弟妹の有無・きょうだい構成別にみた母の就業状況

(単位:%)

	総数	無職	有職	就業状況					
				常勤	パート・アルバイト	自営業・家業	内職	その他	
総数	(100.0)	100.0	46.9	51.9	16.8	26.1	5.8	2.6	0.6
弟妹なし	(57.5)	100.0	39.4	59.4	17.8	31.9	6.3	2.7	0.7
弟妹あり	(42.0)	100.0	57.2	41.6	15.5	18.0	5.2	2.5	0.5
末の弟妹の年齢	(5.8)	100.0	66.9	32.0	15.6	9.1	5.1	1.2	1.1
1歳	(8.1)	100.0	62.1	36.7	16.1	13.1	5.0	2.0	0.5
2歳	(11.7)	100.0	60.5	38.3	15.6	15.0	4.6	2.7	0.4
3歳	(13.0)	100.0	51.3	47.5	14.8	23.7	5.3	3.3	0.5
4、5歳	(3.4)	100.0	40.2	58.8	15.7	33.3	7.1	2.2	0.5
きょうだい構成									
(弟妹なし) ひとり	(16.1)	100.0	40.4	58.4	21.8	29.2	5.0	1.7	0.7
兄弟のみ	(41.3)	100.0	39.0	59.7	16.2	33.0	6.8	3.1	0.6
(弟妹あり) 弟妹のみ	(32.3)	100.0	58.4	40.5	16.0	17.5	4.2	2.2	0.6
兄弟姉妹あり	(9.7)	100.0	53.1	45.5	13.7	19.7	8.3	3.4	0.5

注：1) 母と同居している、第6回調査の回答を得た者(総数 38,201)を集計。
 2) 総数には弟妹の有無「不詳」、きょうだい構成「不詳」、母の就業状況「不詳」を含む。
 3) 「常勤」は「勤め(常勤)」、「パート・アルバイト」は「勤め(パート・アルバイト)」である。

イ 就業状況の変化

「パート・アルバイト」の母が増えている。

母の就業状況の変化をみると、「パート・アルバイト」は、第1回調査（出産半年後）（3.7%）から第6回調査（25.8%）まで年々増加している。一方、「常勤」の割合は、第1回調査（出産半年後）以降の変化は少なく、第6回調査では16.5%となっている。（図3-1）

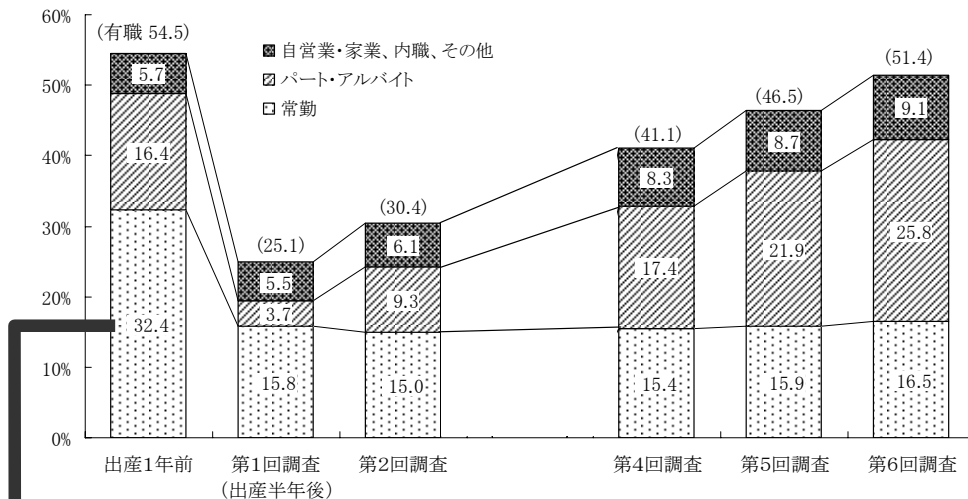
出産1年前に「常勤」の母のうち、「常勤」を続けている割合は約3割。

出産1年前に「常勤」の母の就業状況の変化をみると、第1回調査（出産半年後）で「常勤」は47.6%に減少し、第6回調査では39.9%となっている。

出産1年前に「常勤」の母のうち、第6回調査まで「常勤」を続けている割合は30.9%となっている。

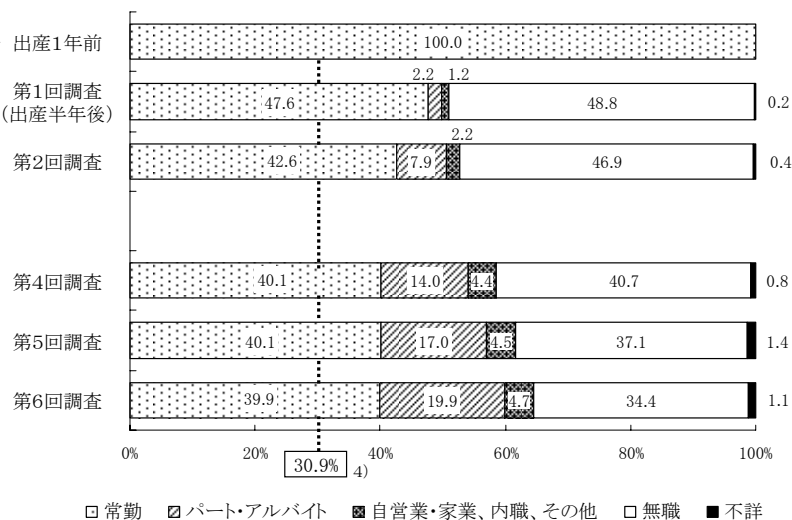
出産1年前に「常勤」の母が第1回調査（出産半年後）で「無職」となった割合は48.8%であったが、「無職」は年々減少し、第6回調査では34.4%となっている。（図3-2）

図3-1 母の就業状況の変化



注：1）母と同居している、第1回調査から第6回調査まで回答を得た者（総数 35,361）を集計。
2）第3回調査は母の就業状況を調査していない。
3）「常勤」は「勤め（常勤）」、「パート・アルバイト」は「勤め（パート・アルバイト）」である。

図3-2 出産1年前に「常勤」の母の就業状況の変化



注：1）母と同居している、第1回調査から第6回調査まで回答を得た、出産1年前の母の就業状況が「常勤」の者（総数 11,444）を集計。図3-1の「出産1年前」の「常勤」（32.4%）を100としている。
2）第3回調査は母の就業状況を調査していない。
3）「常勤」は「勤め（常勤）」、「パート・アルバイト」は「勤め（パート・アルバイト）」である。
4）出産1年前から第6回調査まで「常勤」を続けている母（3,541）の割合。

2 子どもの生活の状況

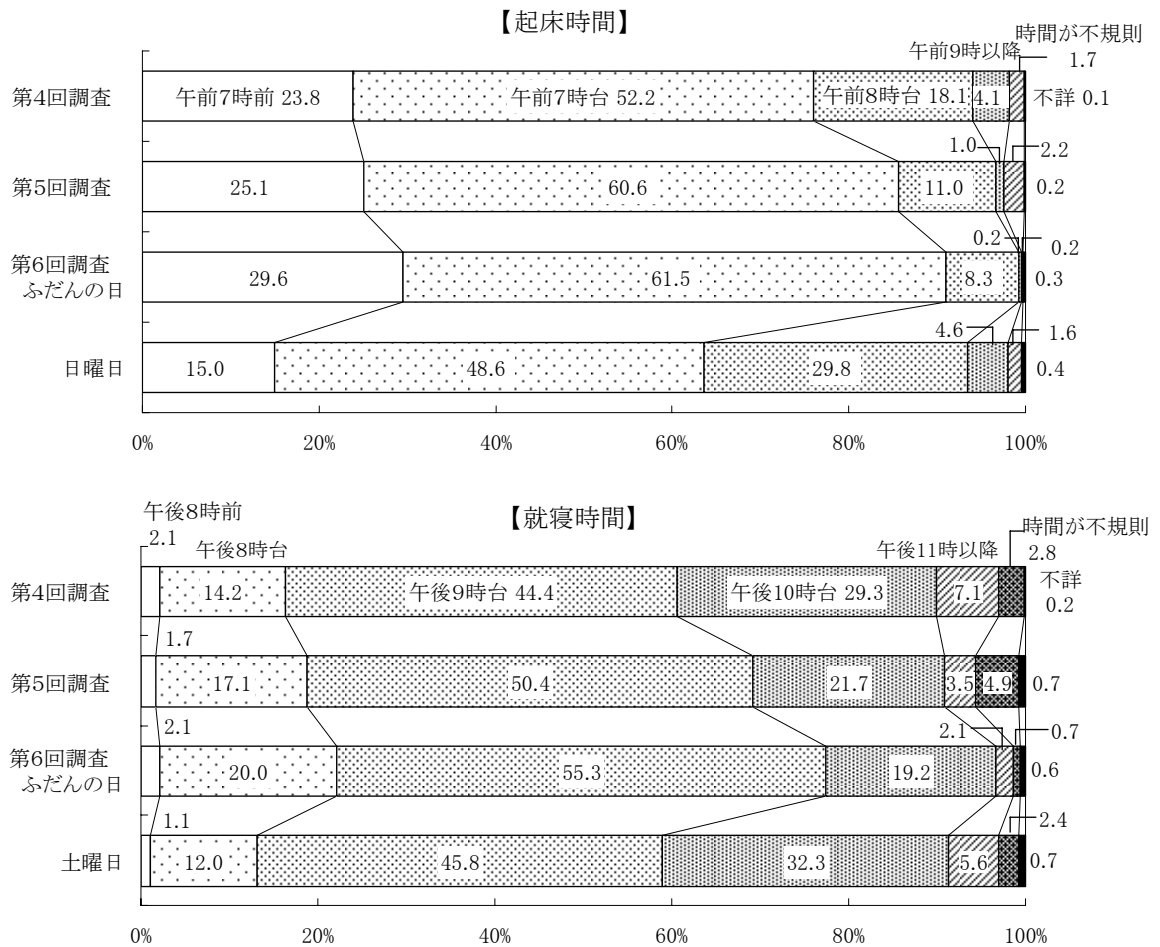
(1) 起床・就寝時間

ふだんの日は起床時間・就寝時間ともに早くなっている。

第4回調査（3歳6か月）以降の子どものふだんの日¹の起床・就寝時間をみると、起床時間は午前8時以降が減少、就寝時間は午後10時以降が減少し、起床時間・就寝時間ともに早くなっている。

第6回調査の日曜日²の起床時間・土曜日の就寝時間をふだんの日と比較すると、起床時間・就寝時間ともに遅い時間帯の割合がふだんの日より多くなっている。（図4）

図4 子どもの起床・就寝時間



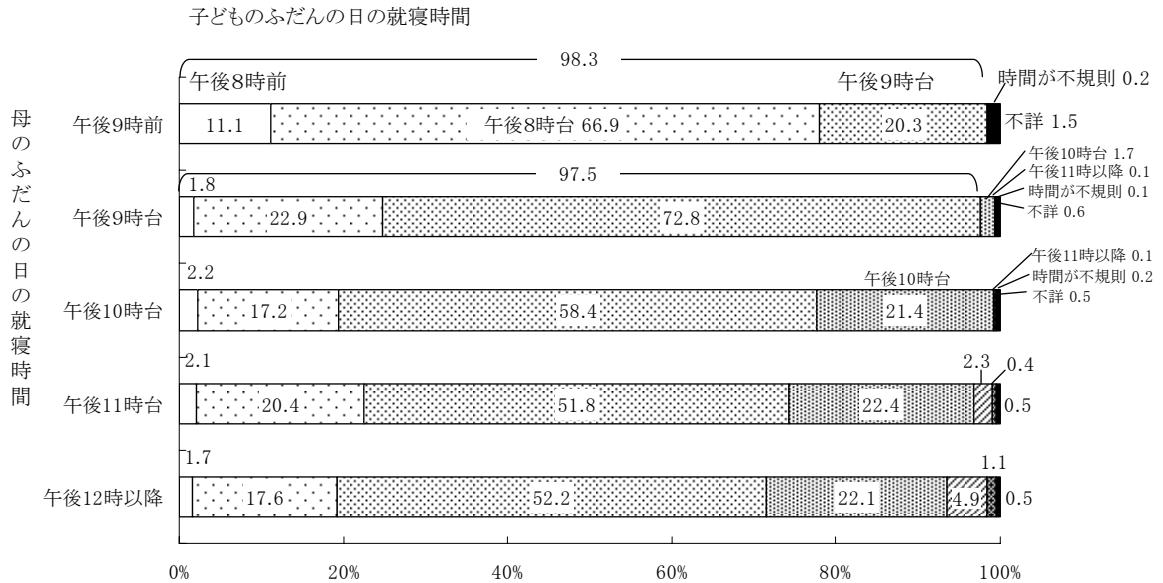
注：1）第4回調査から第6回調査まで回答を得た者（総数 36,691）を集計。
2）第4回調査、第5回調査はふだんの状況を調査した。

ふだんの子どもの就寝時間を父母の就寝時間別にみると、母の就寝時間が「午後9時前」では、子どもは「午後9時台」までに98.3%が就寝し、母が「午後9時台」では子どもは「午後9時台」までに97.5%が就寝している。

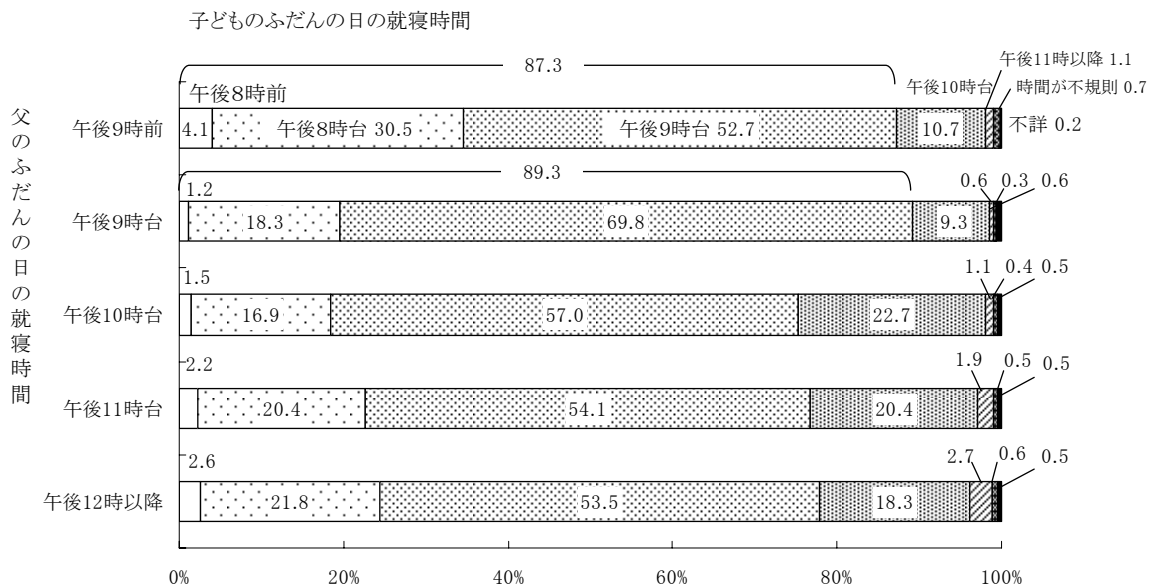
父の就寝時間が「午後9時前」では子どもは「午後9時台」までに87.3%が就寝し、父が「午後9時台」では子どもは「午後9時台」までに89.3%が就寝している。

父母の就寝時間が午後10時以降では、いずれの時間帯でも子どもは「午後9時台」が5割を超え、「午後10時台」が約2割と、同様の傾向となっている。(図5)

図5 ふだんの子どもの就寝時間別に見た子どもの就寝時間



注：1) 母と同居している、第6回調査の回答を得た者(総数 38,201)を集計。
 2) 母のふだんの日の就寝時間の総数に対する割合は以下のとおりである。
 「午後9時前」1.2%、「午後9時台」9.8%、「午後10時台」21.9%、
 「午後11時台」34.1%、「午後12時以降」23.3%



注：1) 父と同居している、第6回調査の回答を得た者(総数 36,040)を集計。
 2) 父のふだんの日の就寝時間の総数に対する割合は以下のとおりである。
 「午後9時前」1.3%、「午後9時台」6.6%、「午後10時台」15.2%、
 「午後11時台」28.9%、「午後12時以降」30.0%

(2) 遊びのようす

児童館や児童公園などで遊ぶ子は約8割。

「よく遊ぶ」が多い場所は、「自宅」が 95.1%と最も多くなっている。次いで「児童館や児童公園などの公共の遊び場」で「よく遊ぶ」が 15.1%となっており、「ときどき遊ぶ」(63.6%)と合計すると「遊ぶ」は 78.7%となっている。

一方、「遊ばない」が多い場所は、「空き地や路地」が 59.3%、「原っぱ、林、海岸などの自然の場所」が 40.8%となっている。(表3)

「同じ年の子」、「大人(親、祖父母等)」と遊ぶ子は約9割。

「よく遊ぶ」が多い相手は、「きょうだい」が 73.1%と最も多くなっている。次いで「同じ年の子」と「よく遊ぶ」が 50.8%、「大人(親、祖父母等)」と「よく遊ぶ」が 50.5%となっており、「ときどき遊ぶ」と合計すると「遊ぶ」は「同じ年の子」88.9%、「大人(親、祖父母等)」93.1%となっている(表3)。

表3 遊び場所・遊び相手

(単位:%)

		総数	遊ぶ		遊ばない	不詳	
			よく遊ぶ	ときどき遊ぶ			
遊び場所	自宅	100.0	98.7	95.1	3.6	0.1	1.2
	友だちの家	100.0	67.5	8.9	58.6	28.0	4.5
	児童館や児童公園などの公共の遊び場	100.0	78.7	15.1	63.6	16.8	4.5
	原っぱ、林、海岸などの自然の場所	100.0	53.4	6.5	46.9	40.8	5.9
	デパート・スーパーなどの遊び場	100.0	64.7	5.9	58.8	29.8	5.5
	空き地や路地	100.0	35.1	10.0	25.1	59.3	5.6
遊び相手	ひとりで遊ぶ	100.0	82.9	43.5	39.4	11.1	6.0
	きょうだいと遊ぶ	100.0	81.5	73.1	8.4	13.9	4.6
	同じ年の子と遊ぶ	100.0	88.9	50.8	38.1	6.5	4.6
	年上の子と遊ぶ	100.0	73.8	21.6	52.2	20.0	6.2
	年下の子と遊ぶ	100.0	67.8	16.1	51.6	25.3	7.0
	大人と遊ぶ(親、祖父母等)	100.0	93.1	50.5	42.6	2.2	4.6

注:第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。

気にかかることは「近所に友だちがいない」が3割超。

遊び場所で気にかかること（複数回答）は、「雨の日に（家以外で）遊べる場所がない」が51.0%と多くなっている（表4）。

友だちとの関係で気にかかること（複数回答）は、「近所に友だちがいない」が34.4%と多くなっており、「近所に友だちがいない」が気にかかる場合の遊び相手を総数と比較すると、「同じ年の子」と「よく遊ぶ」割合が37.2%と低く、「ひとり」で「よく遊ぶ」割合が49.5%と高くなっている（表5、図6）。

表4 遊び場所で気にかかること（複数回答）

(単位:%)

	総数に対する割合
総数	100.0
遊び場やその周辺に危険なところがある (こわれた遊具、川、道、工事現場など)	27.6
大人の目が届きにくい場所がある	19.3
ボール遊びができるような場所がない	24.7
雨の日に(家以外で)遊べる場所がない	51.0
遊び場所が近くにない	21.1

注:第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。

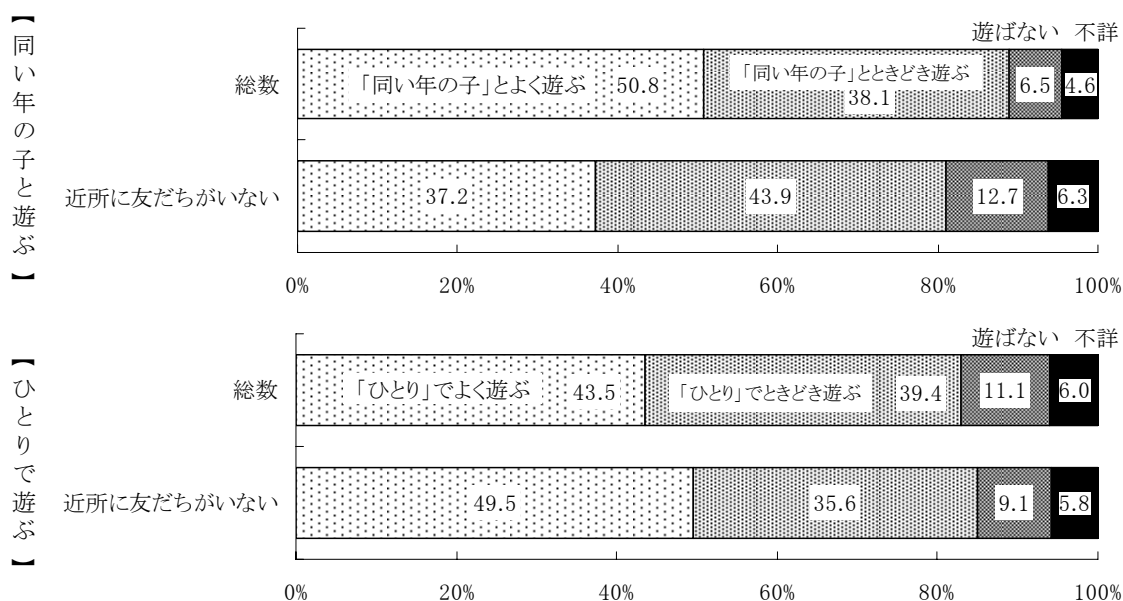
表5 友だちとの関係で気にかかること（複数回答）

(単位:%)

	総数に対する割合
総数	100.0
近所に友だちがいない	34.4
友だちと遊べない	3.1
友だちと遊びたがらない	2.6
友だちをいじめることがある	3.1
友だちにいじめられることがある	6.9

注:第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。

図6 「近所に友だちがいない」が気にかかる場合の遊び相手



注: 1) 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。
 2) 「総数」は表3「遊び相手」の「同じ年の子と遊ぶ」、「ひとりで遊ぶ」の数値である。
 3) 「近所に友だちがいない」の総数に対する割合は34.4%である。

(3) 習い事

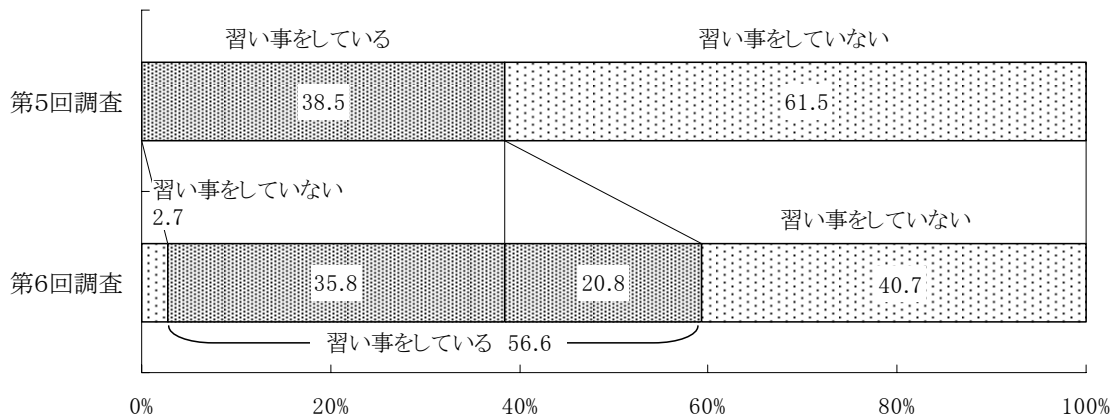
習い事をしている子は半数以上。

男児は「水泳」、女児は「音楽(ピアノなど)」が最も多い。

「習い事をしている」子は56.6%で、そのうち第5回調査で「習い事をしている」子は35.8%となっている(図7)。

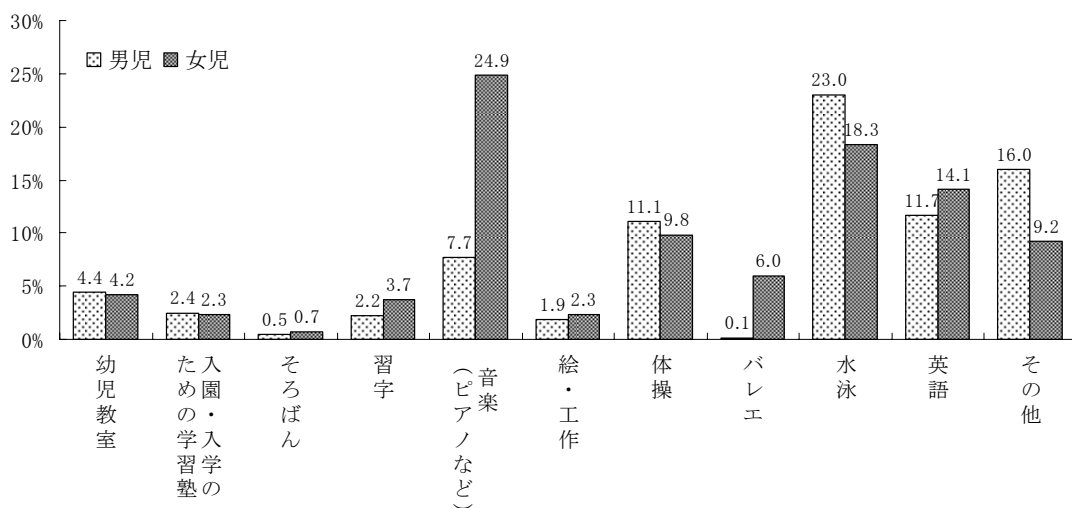
性別に習い事の種類(複数回答)をみると、男児では「水泳」が23.0%、女児では「音楽(ピアノなど)」が24.9%と最も多くなっている(図8)。

図7 習い事をしている子の変化



注: 第5回調査と第6回調査の「習い事」の回答を得た者(総数 36,926)を集計。

図8 性別にみた習い事の種類(複数回答)



注: 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535(男児 20,013、女児 18,522))を集計。

(4) テレビ

テレビを見る時間は、「1～2時間未満」が最も多くなった。

ふだんの日にテレビ（ビデオ、DVDを含む）を見る時間を第5回調査と比較すると2時間以上が減少し、「1～2時間未満」が40.0%と最も多くなった（図9）。

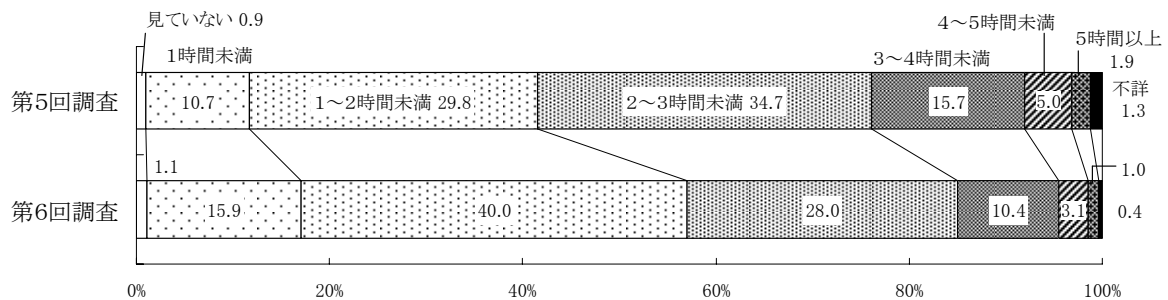
ふだんの日の「1～2時間未満」をみると、日曜日にテレビを見る時間の「1～2時間未満」が44.9%と最も多く、次いで「2～3時間未満」40.2%となっている。2時間以上テレビを見る割合は約5割となっている。（表6）

また、テレビの見方との関わり方をみると、「番組の内容によって見せないようにしている」については「している」が68.9%、「連続して長時間見せないようにしている」については「している」が72.2%、「見ている番組について子どもと話をする」は「よく話す」が75.6%となっている（表7）。

ふだんの日にテレビを見る時間を「番組の内容によって見せないようにしている－していない」別にみると、「している」場合は「2時間以上」の割合が40.2%と「していない」（49.5%）場合より低くなっている。

また「見ている番組について子どもとよく話す－あまり話さない」別にみると、「よく話す」場合と「あまり話さない」場合のテレビを見る時間は同様の傾向となっている。（図10）

図9 ふだんの日にテレビを見る時間の変化



注：1）第5回調査と第6回調査の回答を得た者（総数 37,294）を集計。
2）第5回調査のテレビを見る時間「不詳」には「わからない」を含む。

表6 ふだんの日、日曜日にテレビを見る時間

(単位:%)

		日曜日にテレビを見る時間										
		総数	見ていない	見ている	1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5時間以上	不詳	
ふだんの日にテレビを見る時間	総数	(100.0)	100.0	0.7	98.5	8.6	29.5	31.3	18.1	7.2	3.8	0.9
	見ていない	(1.1)	100.0	18.3	81.0	54.5	20.7	4.5	0.9	0.2	0.2	0.7
	見ている	(98.5)	100.0	0.5	99.0	8.1	29.7	31.7	18.4	7.3	3.8	0.5
	1時間未満	(15.9)	100.0	1.9	97.8	35.2	52.7	8.5	1.1	0.2	0.1	0.3
	1～2時間未満	(39.9)	100.0	0.3	99.3	4.9	44.9	40.2	8.1	1.0	0.2	0.4
	2～3時間未満	(28.0)	100.0	0.1	99.3	1.3	9.1	45.0	34.2	8.2	1.6	0.6
	3～4時間未満	(10.5)	100.0	0.0	99.2	0.5	3.4	10.1	44.8	29.8	10.5	0.7
	4～5時間未満	(3.2)	100.0	-	99.0	0.2	1.6	5.1	11.1	41.2	39.8	1.0
	5時間以上	(1.0)	100.0	-	100.0	-	0.8	1.8	4.1	6.3	87.1	-

注：1）第6回調査の回答を得た者（総数 38,535）を集計。
2）総数にはふだんの日にテレビを見る時間「不詳」を含む。

表7 テレビの見方との関わり方

(単位:%)

	総数	している	していない	不詳
番組の内容によって見せないようにしている	100.0	68.9	30.0	1.1

	総数	している	していない	不詳
連続して長時間見せないようにしている	100.0	72.2	27.0	0.8

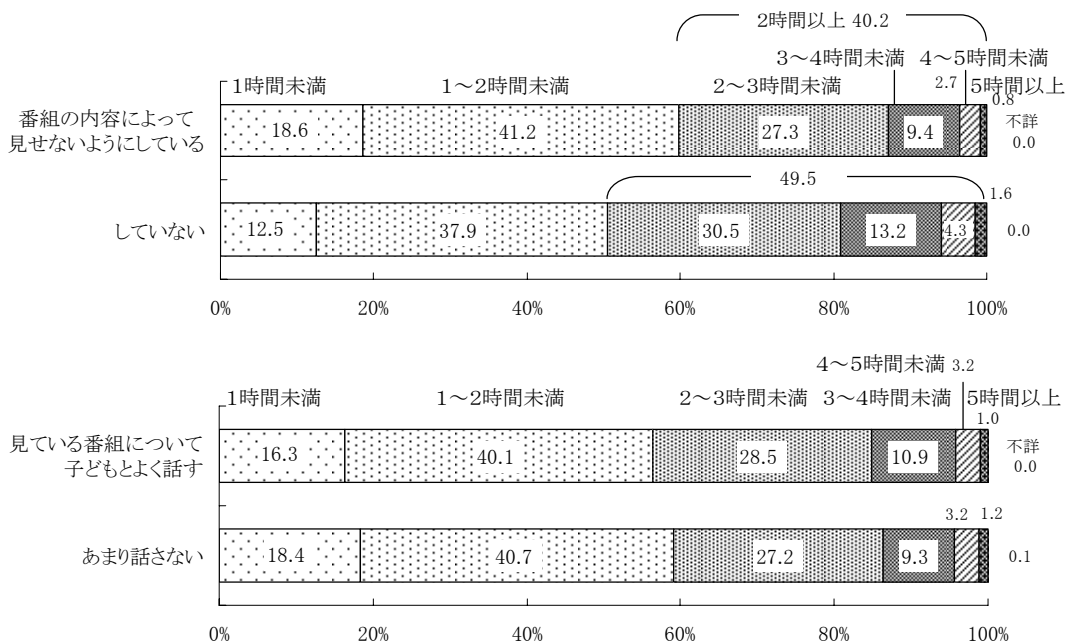
	総数	よく話す	あまり話さない	不詳
見ている番組について子どもと話をする	100.0	75.6	23.5	0.9

	総数	大人と一緒に見ることが多い(親、祖父母等)	ひとり又は子どもだけで見ることが多い	不詳
一緒に見ている人	100.0	60.0	38.0	2.0

	総数	午後9時 くらいまで	午後10時 くらい	午後11時 くらい	午後11時 以降	不詳
見ている時間で遅い時の時間	100.0	52.4	28.5	8.9	1.4	8.8

注:第6回調査の回答を得た、「ふだんの日」、「日曜日」のいずれか又は両方テレビを見る者(総数 38,309)を集計。

図10 テレビの見方との関わり方別にみたふだんの日にテレビを見る時間



注: 1) 第6回調査の回答を得た、「ふだんの日」、「日曜日」のいずれか又は両方テレビを見る者(総数 38,309)を集計。

2) 「1時間未満」には、「ふだんの日」に「見えない」を含む。

(5) コンピュータゲーム

コンピュータゲームをする子は半数以上。

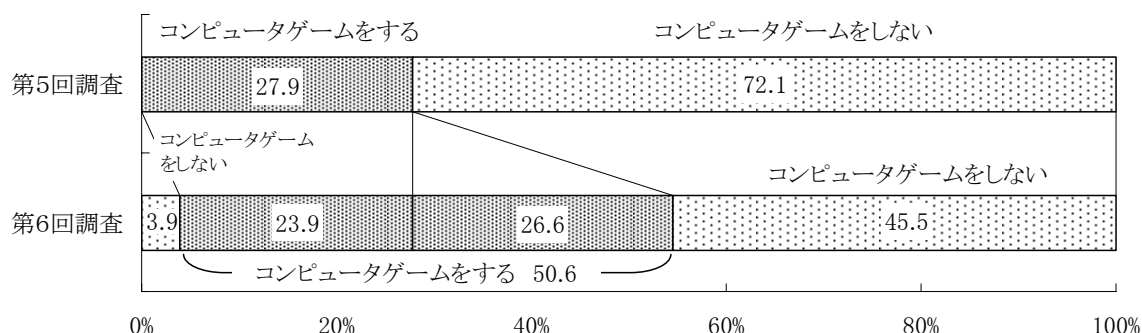
テレビゲームや携帯型ゲームなどの「コンピュータゲームをする」子は50.6%で、第5回調査の「コンピュータゲームをする」子と比較すると、22.7ポイントの増加となっている（図11）。

ふだんの日と日曜日を比較すると、日曜日に「する」子は48.0%とふだんの日より多く、男児の場合は53.3%と半数を超えている。コンピュータゲームをする時間は、ふだんの日、日曜日ともに「1時間未満」が多くなっている。（表8）

また、ふだんの日と日曜日の組合せをみると、「ふだんの日」、「日曜日」ともにする子は37.0%、「日曜日」のみする子は10.8%、「ふだんの日」のみする子は2.0%となっている（表9）。

ふだんの日にテレビを見る時間別にコンピュータゲームをする子の割合をみると、テレビを見る時間が長い子ほど、コンピュータゲームを「する」割合が高くなっている（図12）。

図11 コンピュータゲームをする子の変化



- 注：1) 第5回調査と第6回調査の「コンピュータゲームをする時間」の回答を得た者(総数 36,844)を集計。
 2) 第5回調査は「ふだん1日にコンピュータゲームでどれくらい遊んでいますか」として調査した。第6回調査は「コンピュータゲームを1日にする時間」を「ふだんの日」と「日曜日」に分けて調査した。
 3) 第6回調査の「コンピュータゲームをする」は、「ふだんの日」、「日曜日」のいずれか又は両方する者である。「コンピュータゲームをしない」は、「ふだんの日」、「日曜日」の両方しない者である。

表8 ふだんの日－日曜日、性別にみたコンピュータゲームをする時間

(単位: %)

	総数	コンピュータゲームをしない	コンピュータゲームをする	時間別				不詳
				1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	
ふだんの日 総数	100.0	60.0	39.2	29.3	8.4	1.1	0.3	0.8
男児	100.0	54.3	44.9	30.6	12.1	1.8	0.5	0.8
女児	100.0	66.2	33.0	28.0	4.5	0.5	0.1	0.8
日曜日 総数	100.0	51.0	48.0	29.7	13.4	3.5	1.4	1.0
男児	100.0	45.7	53.3	28.6	17.3	5.1	2.3	1.0
女児	100.0	56.8	42.2	30.9	9.2	1.7	0.4	1.0

注:第6回調査の回答を得た者(総数 38,535(男児 20,013、女児 18,522))を集計。

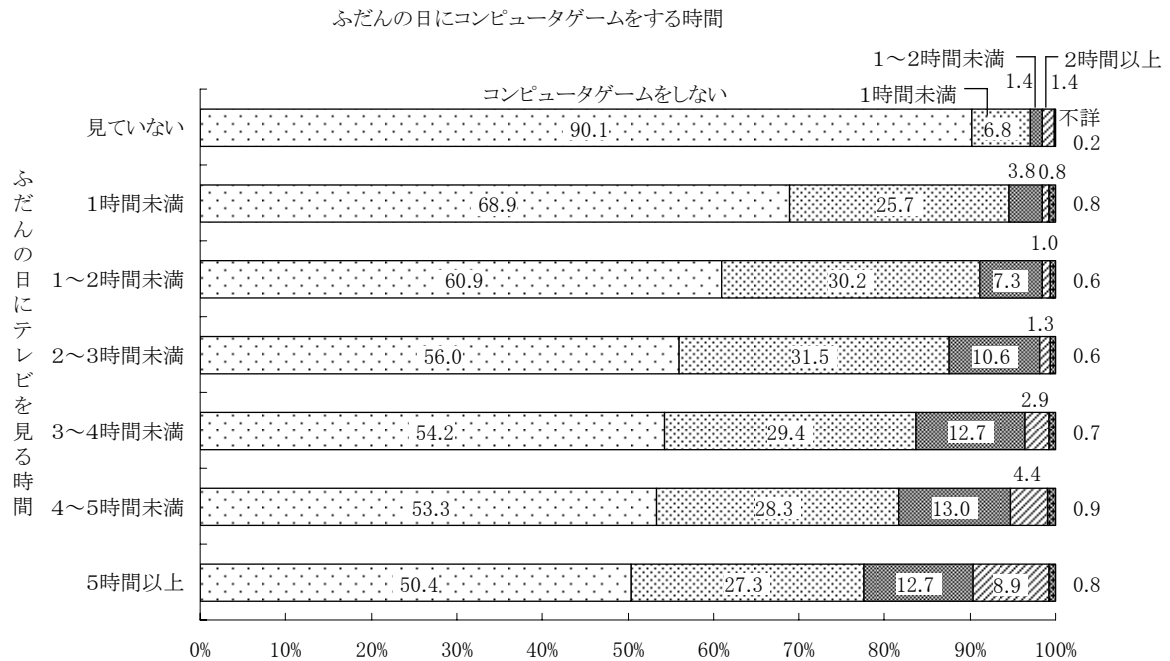
表9 コンピュータゲームをする日の組合せ

(単位:%)

		ふだんの日			
		総数	コンピュータゲームをしない	コンピュータゲームをする	不詳
日曜日	総数	100.0	60.0	39.2	0.8
	コンピュータゲームをしない	51.0	49.0	2.0	0.0
	コンピュータゲームをする	48.0	10.8	37.0	0.1
	不詳	1.0	0.1	0.2	0.7

注:第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。

図12 ふだんの日にテレビを見る時間別にみたコンピュータゲームをする時間



注: 1) 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。
 2) ふだんの日にテレビを見る時間の総数に対する割合は以下のとおりである。

「見ていない」	1.1%
「1時間未満」	15.9%
「1～2時間未満」	39.9%
「2～3時間未満」	28.0%
「3～4時間未満」	10.5%
「4～5時間未満」	3.2%
「5時間以上」	1.0%

(6) 子どもの接し方

約7割の子が「自分の気持ちを言葉で伝える」などを「よくする」。

子どもが父母との接し方で「よくする」割合が高い接し方をみると、「自分の気持ちを言葉で伝える」(71.2%)、「一緒に遊びたがる」(69.9%)、「「なぜ」、「どうして」と疑問に思うことを質問する」(69.7%)、「親の体に触れたがる」(69.3%)、「その日の出来事などを親に話しをする」(67.3%)と約7割となっている。

一方、「抱っこやおんぶをせがむ」は37.8%、「友だちやきょうだいが持っている物をねだる」は31.0%となっている。(表10)

表10 子どもの父母との接し方

	総数	よくする	ときどきする	ほとんどしない	不詳
その日の出来事などを親に話しをする	100.0	67.3	28.9	2.7	1.2
「なぜ」、「どうして」と疑問に思うことを質問する	100.0	69.7	26.9	2.5	0.9
一緒に遊びたがる	100.0	69.9	27.6	1.5	1.0
友だちやきょうだいが持っている物をねだる	100.0	31.0	46.9	20.5	1.6
自分の気持ちを言葉で伝える	100.0	71.2	25.9	1.9	1.0
親の体に触れたがる	100.0	69.3	26.9	2.9	0.9
抱っこやおんぶをせがむ	100.0	37.8	43.2	18.0	0.9

注:第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。

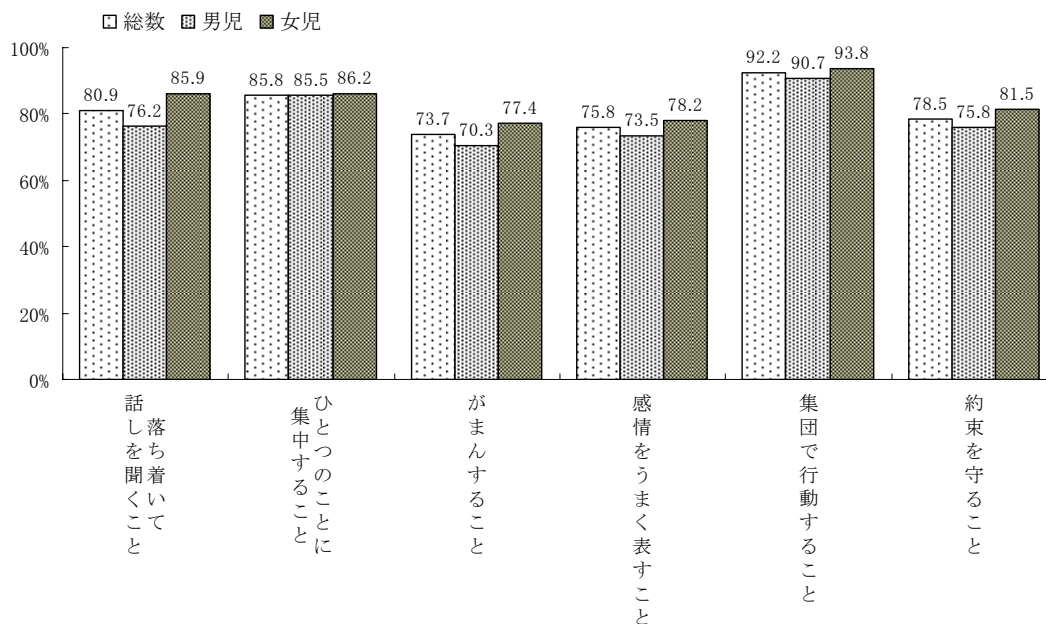
(7) 子どもの行動

子どもの行動で「できる」と回答のあった割合は女兒の方が高い。

子どもの行動で「できる」と回答のあった割合は、「集団で行動すること」が92.2%、「ひとつのことに集中すること」が85.8%、「落ち着いた話しを聞くこと」が80.9%となっている。

性別にみると、男児より女兒の方が割合が高くなっている。(図13)

図13 性別にみた子どもの行動で「できる」と回答のあった割合



注:第6回調査の回答を得た者(総数 38,535(男児 20,013、女兒 18,522))を集計。

(8) 手伝い

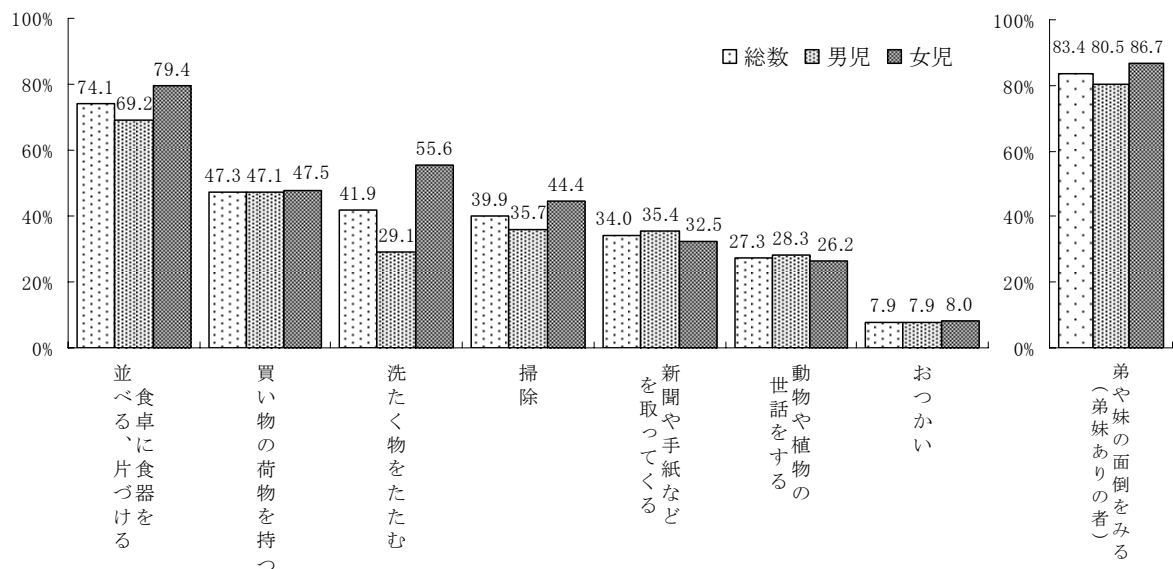
「食卓に食器を並べる、片づける」が最も多い。

手伝いの状況（複数回答）をみると、「食卓に食器を並べる、片づける」が74.1%と最も多くなっている。

性別にみると、男児は「食卓に食器を並べる、片づける」(69.2%)、「買い物の荷物を持つ」(47.1%)、「掃除」(35.7%)の割合が多く、女兒は「食卓に食器を並べる、片づける」(79.4%)、「洗たく物をたたむ」(55.6%)、「買い物の荷物を持つ」(47.5%)の割合が多い。

また、弟妹がいる場合では「弟や妹の面倒をみる」が83.4%となっている。(図14)

図14 手伝いの種類（複数回答）



注：第6回調査で回答を得た者（総数 38,535（男児 20,013、女兒 18,522））を集計。ただし、「弟や妹の面倒をみる」の数値は、弟妹ありの者（総数 16,128）を集計。

(9) 病気やけが

この1年間に「う歯〔むし歯〕」で病院や診療所にかかった子は 36.2%

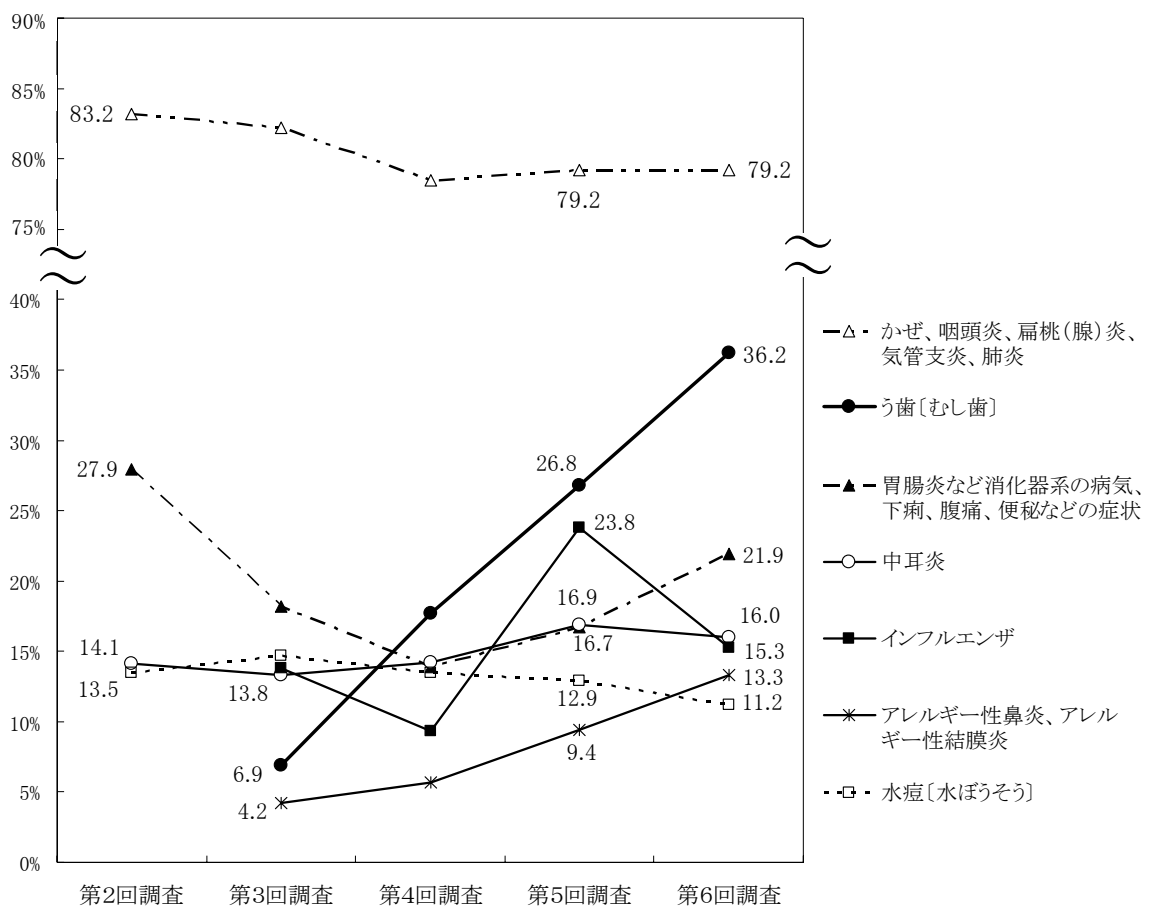
この1年間に病院や診療所にかかった主な病気やけが（複数回答）は「かぜ、咽頭炎、扁桃（腺）炎、気管支炎、肺炎」が 79.2%と最も多く、次いで、「う歯〔むし歯〕」が 36.2%、「胃腸炎など消化器系の病気、下痢、腹痛、便秘などの症状」が 21.9%となっている。

第2回調査からの推移をみると、第2回調査以降「かぜ、咽頭炎、扁桃（腺）炎、気管支炎、肺炎」が約8割と最も多くなっている。

また、「う歯〔むし歯〕」は第3回調査の 6.9%から、第6回調査の 36.2%に大幅に上昇している。

（図 15）

図15 病院や診療所にかかった主な病気やけが（複数回答）の推移



- 注：1）第2回調査から第6回調査まで回答を得た者（総数 35, 783）を集計。
 2）「う歯〔むし歯〕」、「インフルエンザ」、「アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎」は、第2回調査では調査していない。
 3）「かぜ、咽頭炎、扁桃（腺）炎、気管支炎、肺炎」は、第2回調査では「かぜ、気管支炎、肺炎」についてである。
 4）「胃腸炎など消化器系の病気、下痢、腹痛、便秘などの症状」は、第2回調査では「下痢、腹痛、便秘」である。
 5）第2回調査から第4回調査の「中耳炎」には、「外耳炎」を含む。

3 子育ての意識

(1) 父母の子どもとの接し方

父は子どもと一緒に「トランプやおもちゃなどで遊ぶ」「体を動かす遊びをする」を「よくしている」割合が高い。

父母の子どもとの接し方で「よくしている」割合をみると、母は「子どもと一緒に食事をする」が89.0%と最も多く、次いで、「積極的に子どもに話しかける」が73.3%となっている。父は「積極的に子どもに話しかける」が51.0%と最も多く、次いで、「膝に乗せるなどスキンシップをはかる」が45.7%となっている。

父母を比較すると、「子どもと一緒にトランプやおもちゃなどで遊ぶ」、「子どもと一緒に体を動かす遊びをする」は、父が「よくしている」割合が高く、これ以外はすべて母が「よくしている」割合が高くなっている。

また、「膝に乗せるなどスキンシップをはかる」を「よくしている」割合を弟妹の有無別にみると、父は「弟妹あり」45.9%、「弟妹なし」45.5%とほぼ同じとなっているが、母は「弟妹あり」48.5%、「弟妹なし」69.9%と、「弟妹なし」の方が21.4ポイント高くなっている。(表11)

表11 父母の子どもとの接し方

(単位:%)

	総数	よくしている	できるだけ するように している	していない	(再掲)よくしている		
					弟妹あり	弟妹なし	
母の 子ども との 接し 方	子どもと一緒にトランプやおもちゃなどで遊ぶ	100.0	14.7	66.2	17.4	13.2	15.8
	子どもと一緒に体を動かす遊びをする	100.0	12.5	62.5	23.4	12.9	12.2
	子どもと一緒にお風呂に入る	100.0	71.8	18.3	8.6	75.4	69.2
	本や絵本の読み聞かせをする	100.0	34.3	51.5	12.8	37.0	32.3
	積極的に子どもに話しかける	100.0	73.3	24.0	1.2	72.1	74.2
	子どもと一緒に食事をする	100.0	89.0	9.2	0.5	89.6	88.7
	膝に乗せるなどスキンシップをはかる	100.0	60.9	33.8	3.9	48.5	69.9
	子どもをほめる	100.0	54.2	43.7	0.8	50.6	56.7
父の 子ども との 接し 方	子どもと一緒にトランプやおもちゃなどで遊ぶ	100.0	18.1	55.0	24.8	18.1	18.2
	子どもと一緒に体を動かす遊びをする	100.0	28.1	52.9	17.1	30.1	26.5
	子どもと一緒にお風呂に入る	100.0	35.5	48.7	13.9	38.0	33.7
	本や絵本の読み聞かせをする	100.0	8.2	36.5	53.3	9.5	7.1
	積極的に子どもに話しかける	100.0	51.0	40.6	6.5	51.5	50.7
	子どもと一緒に食事をする	100.0	37.0	52.3	8.9	36.2	37.6
	膝に乗せるなどスキンシップをはかる	100.0	45.7	42.7	9.7	45.9	45.5
	子どもをほめる	100.0	42.2	49.4	6.5	42.5	42.0

注：1) 第6回調査時に、「母の子どもとの接し方」については母と同居している者(母総数 38,201)、「父の子どもとの接し方」については父と同居している者(父総数 36,040)を集計。

2) 総数には子どもとの接し方「不詳」を含む。

3) 「弟妹あり」、「弟妹なし」の総数に対する割合は以下のとおりである。

母と同居している場合 「弟妹あり」42.0%、「弟妹なし」57.5%

父と同居している場合 「弟妹あり」43.3%、「弟妹なし」56.2%

(2) 食事時に特に気をつけていること

食事時に特に気をつけていることは「遊びながら食べない」が多い。

食事時に特に気をつけていること（複数回答）をみると、「遊びながら食べない」が76.4%と最も多く、次いで、「あいさつをする（「いただきます」「ごちそうさま）」が72.5%となっている。一方、「テレビをつけない」は29.2%と最も少ない。

また、性別及びきょうだい構成別にみると、いずれも「遊びながら食べない」が最も多く、次いで「あいさつをする」が多くなっており、総数と同様の傾向となっている。（表12）

表12 性・きょうだい構成別にみた食事時に特に気をつけていること（複数回答）

	総数	食事時に特に気をつけていること(複数回答)								
		あいさつをする (「いただきます」「ごちそうさま」)	食べている ときの姿勢	お茶碗やは しの持ち方	食べ物を粗 末にしない	遊びながら 食べない	残さず食べ る	食事中に席 を立たない	テレビをつ けない	
総数	(100.0) 100.0	72.5	65.0	50.0	64.8	76.4	54.8	58.1	29.2	
男児	(51.9) 100.0	72.2	65.0	49.5	65.1	77.1	55.9	59.1	29.6	
女児	(48.1) 100.0	72.9	65.0	50.5	64.5	75.7	53.6	56.9	28.7	
ひとり	(16.3) 100.0	75.0	62.2	48.5	61.0	75.3	46.2	54.3	23.9	
弟妹のみ	(32.2) 100.0	74.3	64.7	46.9	67.9	78.8	57.3	60.8	33.6	
兄姉のみ	(41.3) 100.0	70.2	65.5	52.3	63.1	74.9	54.3	56.7	26.8	
兄弟姉妹あり	(9.7) 100.0	73.0	68.9	53.1	68.6	76.8	63.0	60.8	33.4	

注：1) 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。
2) 総数にはきょうだい構成の「不詳」を含む。

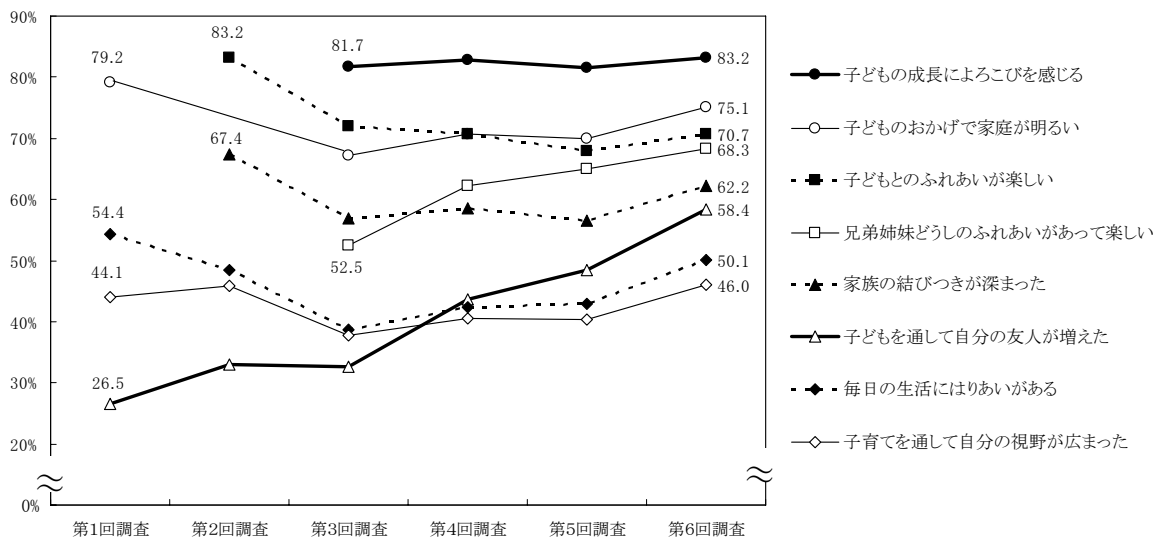
(3) 子どもを育てていてよかったと思うこと

「子どもの成長によるこびを感じる」の割合が引き続き最も高い。

子どもを育てていてよかったと思うこと（複数回答）を第5回調査と比較すると、いずれの割合も高くなっている。「子どもの成長によるこびを感じる」は83.2%と第3回調査から引き続き最も高くなっている。

第1回調査からの変化をみると、「子どもを通して自分の友人が増えた」は、第1回調査の26.5%から、第6回調査の58.4%に大幅に上昇している。（図16）

図16 子どもを育てていてよかったと思うこと（複数回答）の変化



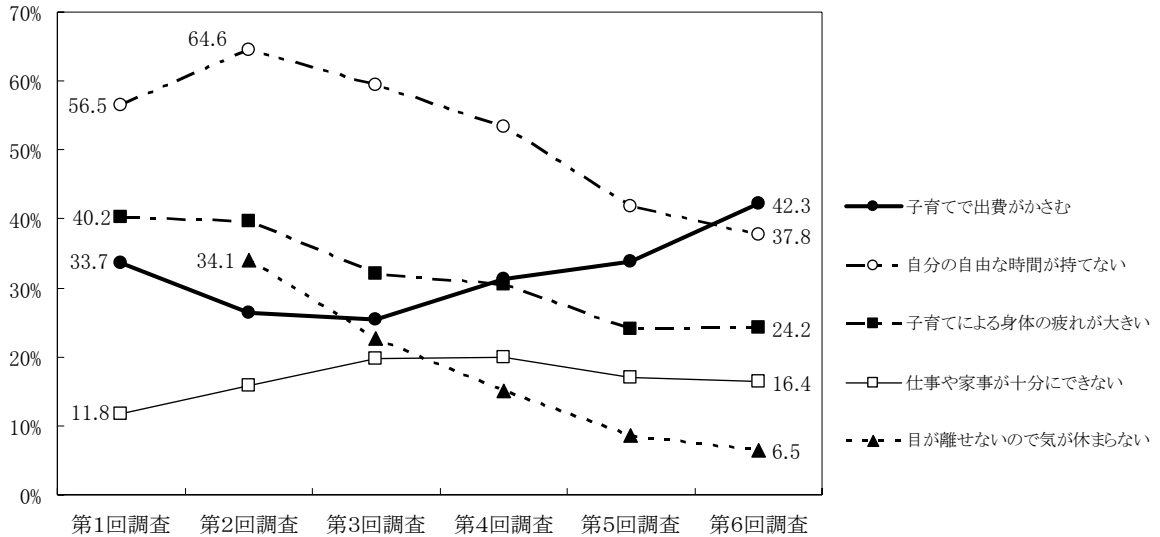
注：1) 第1回調査から第6回調査まで回答を得た者(総数 35,783)を集計。
2) 「子どもの成長によるこびを感じる」、「兄弟姉妹どうしのふれあいがあって楽しい」は、第1回調査、第2回調査では調査していない。
3) 「子どものおかげで家庭が明るい」は、第1回調査は「家庭が明るくなった」であり、第2回調査は調査していない。
4) 「子どもとのふれあいが楽しい」、「家族の結びつきが深まった」は、第1回調査では調査していない。
5) 「毎日の生活にはりあいがある」は、第1回調査は「生活にはりあいがあった」、第2回調査は「毎日の生活にはりあいがあった」である。

(4) 子どもを育てていて負担に思うことや悩み

「子育てで出費がかさむ」がさらに増加し、最も多くなった。

子どもを育てていて負担に思うことや悩み（複数回答）の変化をみると、「子育てで出費がかさむ」（42.3%）は大幅に増加して第1回調査以降初めて最も多くなり、次いで「自分の自由な時間が持てない」が37.8%となっている（図17、表13）。

図17 主な子どもを育てていて負担に思うことや悩み（複数回答）の変化



- 注：1）第1回調査から第6回調査まで回答を得た者（総数 35,783）を集計。
 2）「仕事や家事が十分にできない」は、第1回調査、第2回調査では「仕事が十分にできない」である。
 3）「目が離せないので気が休まらない」は、第1回調査では調査していない。

表13 子どもを育てていて負担に思うことや悩み（複数回答）の変化

	(単位: %)					
	第1回調査	第2回調査	第3回調査	第4回調査	第5回調査	第6回調査
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
子育てで出費がかさむ	33.7	26.4	25.4	31.2	33.8	42.3
自分の自由な時間が持てない	56.5	64.6	59.4	53.4	41.8	37.8
子育てによる身体の疲れが大きい	40.2	39.7	32.1	30.5	24.0	24.2
気持ちに余裕をもって子どもに接することができない	・	・	・	23.0	26.2	23.9
子どもが言うことを聞かない	・	・	21.9	27.5	23.0	19.3
仕事や家事が十分にできない	11.8	15.8	19.8	19.9	17.0	16.4
しつけのしかたが家庭内で一致していない	・	・	9.2	11.7	11.2	11.5
子どもを一時的にあずけたいときにあずけ先がない	・	・	12.0	11.1	10.5	10.6
子どもについてまわりの目や評価が気になる	・	・	5.0	8.2	7.6	8.5
子どもの成長の度合いが気になる	・	・	7.0	7.5	7.2	7.8
目が離せないので気が休まらない	・	34.1	22.7	15.1	8.7	6.5
配偶者が育児に参加してくれない	・	・	6.0	6.7	6.4	6.4
しつけのしかたがわからない	・	・	8.6	7.3	7.8	6.0
子どもが急病のとき診てくれる医者が近くにいない	・	・	3.4	3.4	3.7	3.9
子どもが病気がちである	3.3	6.3	4.0	3.8	4.4	3.5
子どもをもつ親同士の関係がうまくいかない	・	・	1.2	1.6	2.1	2.6
子どもが保育所・幼稚園に行きたがらない	・	・	・	2.5	2.4	1.5
子どもを好きになれない	・	・	0.3	0.4	0.5	0.4
その他	6.0	3.9	3.0	3.4	3.4	3.5
負担に思うことや悩みは特にない	19.7	12.2	13.0	12.1	15.5	15.6
不詳	0.5	2.1	0.7	0.9	2.1	1.8

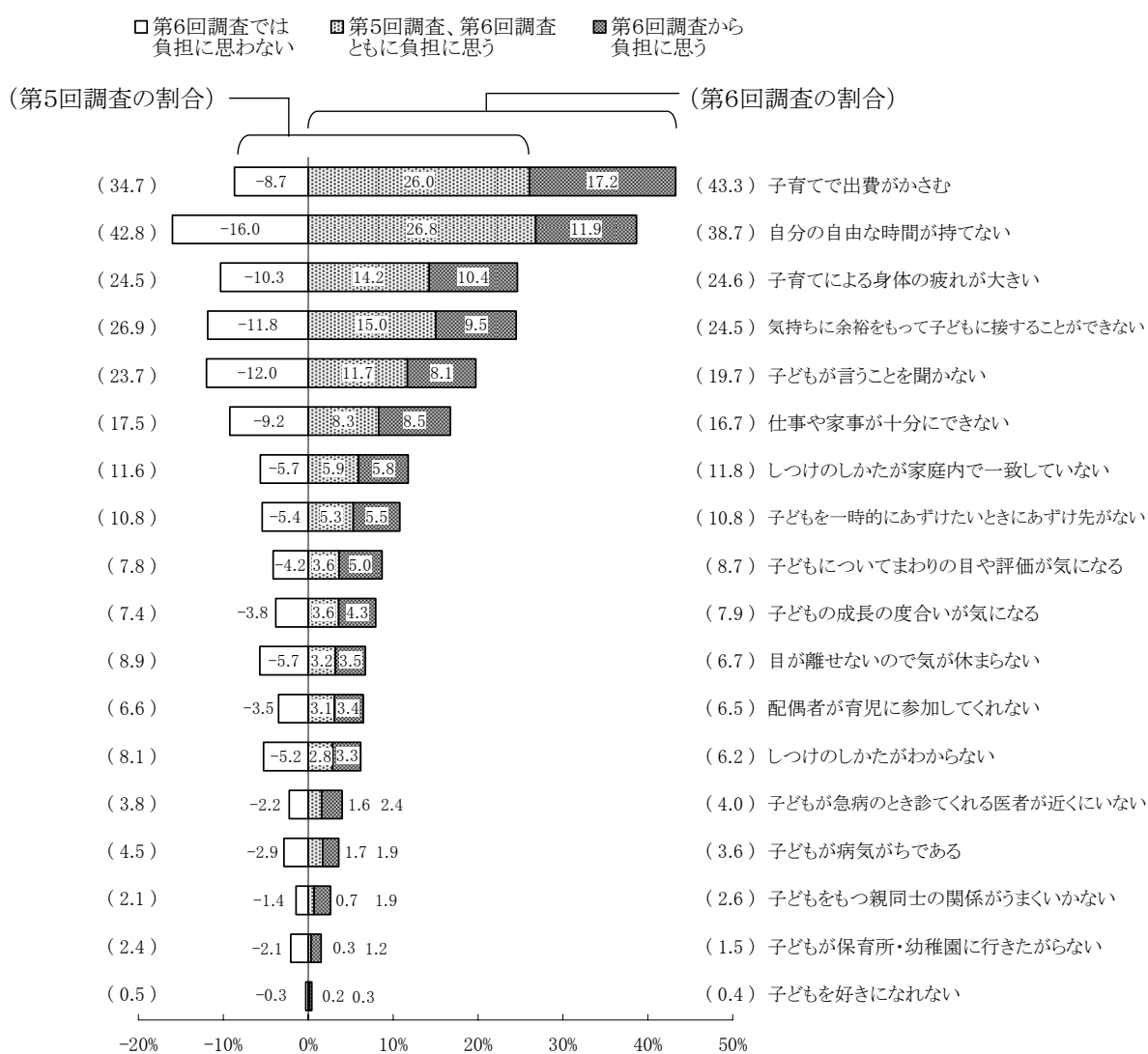
- 注：1）第1回調査から第6回調査まで回答を得た者（総数 35,783）を集計。
 2）「仕事や家事が十分にできない」は、第1回調査、第2回調査では「仕事が十分にできない」である。

「子育てで出費がかさむ」を第5回調査からの変化で見ると、「第6回調査から負担に思う」が17.2%となり、「第6回調査では負担に思わない」が8.7%となっている。

一方、第5回調査まで最も多かった「自分の自由な時間が持てない」は、「第6回調査では負担に思わない」が16.0%となり、「第6回調査から負担に思う」は11.9%となっている。

子どもが成長するにつれて、負担に思うことを思わなくなったり、悩みの種類が変化している。(図18)

図18 子どもを育てていて負担に思うことや悩み(複数回答)の第5回調査からの変化



注：1) 第5回調査と第6回調査の「子どもを育てていて負担に思うことや悩み」の回答を得た者(総数 35,886)を集計。
 2) 「第6回調査では負担に思わない」は、第5回調査で負担に思うと回答した者のうち、第6回調査では負担に思うと回答していない者である。
 「第5回調査、第6回調査ともに負担に思う」は、第5回調査で負担に思うと回答した者のうち、第6回調査でも負担に思うと回答した者である。
 「第6回調査から負担に思う」は、第5回調査では負担に思うと回答していない者のうち、第6回調査では負担に思うと回答した者である。

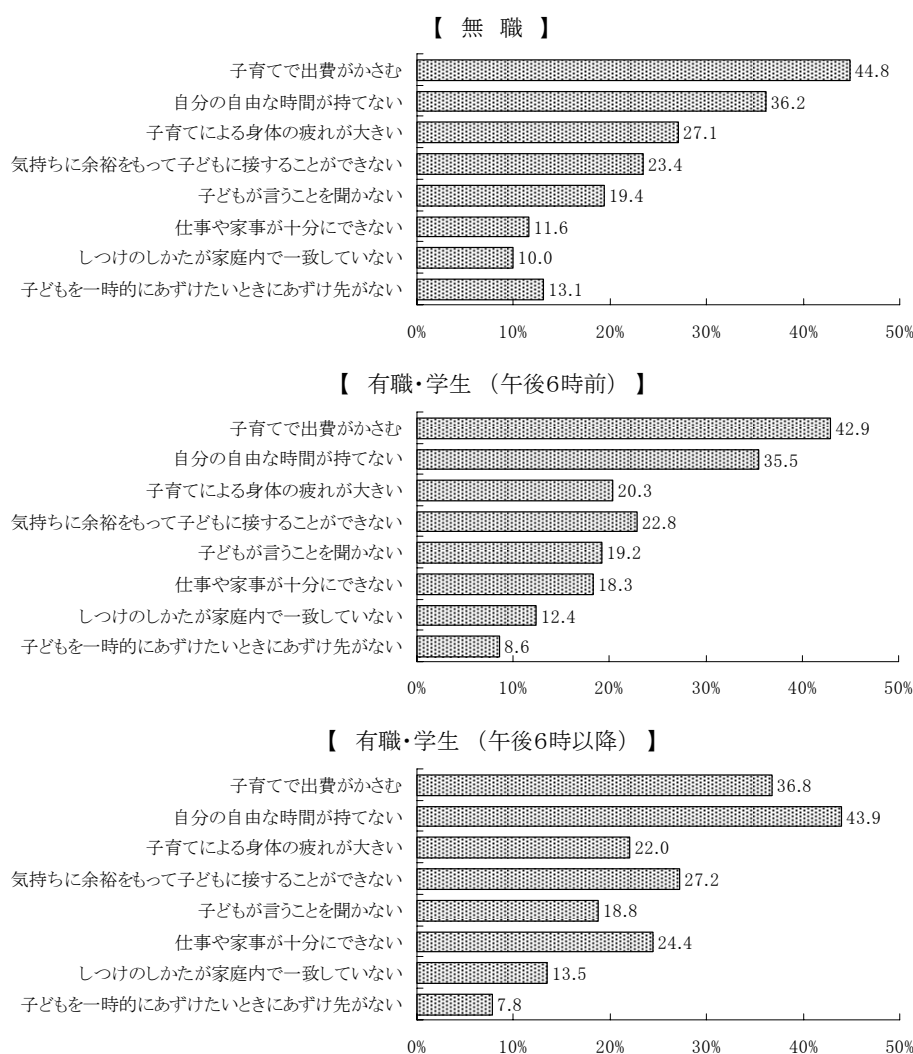
母の就業の有無・帰宅時間により子どもを育てていて負担に思うことや悩みに差がある。

母の就業の有無・帰宅時間別に主な子どもを育てていて負担に思うことや悩みをみると、母が「無職」では、「子育てで出費がかさむ」が44.8%と最も多く、次いで「自分の自由な時間が持てない」(36.2%)、「子育てによる身体の疲れが大きい」(27.1%)となっている。

有職・学生の帰宅時間が「午後6時前」では、「子育てで出費がかさむ」が42.9%と最も多く、次いで「自分の自由な時間が持てない」(35.5%)、「気持ちに余裕をもって子どもに接することができない」(22.8%)となっている。

また、帰宅時間が「午後6時以降」については、「自分の自由な時間が持てない」が43.9%と最も多く、「子育てで出費がかさむ」(36.8%)に続き、「気持ちに余裕をもって子どもに接することができない」(27.2%)が多くなっており、母の就業の有無や帰宅時間により、負担に思うことや悩みに差がでている。(図19)

図19 母の就業の有無・帰宅時間別にみた主な子どもを育てていて負担に思うことや悩み(複数回答)



注：1) 母と同居している、第6回調査の回答を得た者(総数 38,201)を集計。
 2) 「無職」には「学生」を含まない。
 3) 母の帰宅時間の区分及び総数に対する割合、母と同居している場合の回答者の総数に対する割合は以下のとおりである。
 母の帰宅時間 「無職」46.7%、
 「有職・学生(午後6時前)」(午前6時～午後6時前) 28.1%、
 「有職・学生(午後6時以降)」(午後6時～午前6時前)19.7%
 回答者 「母のみ」92.6%、「父のみ」5.7%、「父母のみ」1.0%、
 「その他の組合せ」0.3%、「不詳」0.4%

(5) 子育て費用

子育て費用は増加している。

1か月の子育て費用をみると、「4万円」が22.6%、「3万円」が20.0%、「5万円」が19.8%となっている。

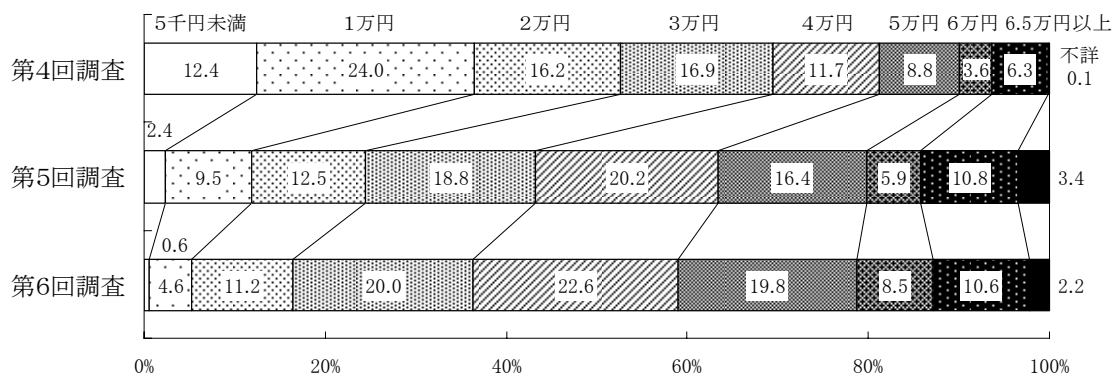
第4回調査からの変化をみると、「2万円」以下の割合が減少して、「3万円」以上の割合が増加している。(図20)

また、第6回調査の1か月の子育て費用別に子どもを育てていて負担に思うことや悩みで「子育てで出費がかさむ」と回答のあった者の割合をみると、「6万円」(52.6%)、「6.5万円以上」(53.0%)と、金額が高くなるほど割合が高くなっている(図21)。

保育所や幼稚園などの1か月の保育料・月謝をみると、「2～3万円未満」が40.1%と最も多く、第4回調査と比較すると、約4割であった「保育料・月謝なし」が第6回調査では3.1%に減少した(図22)。

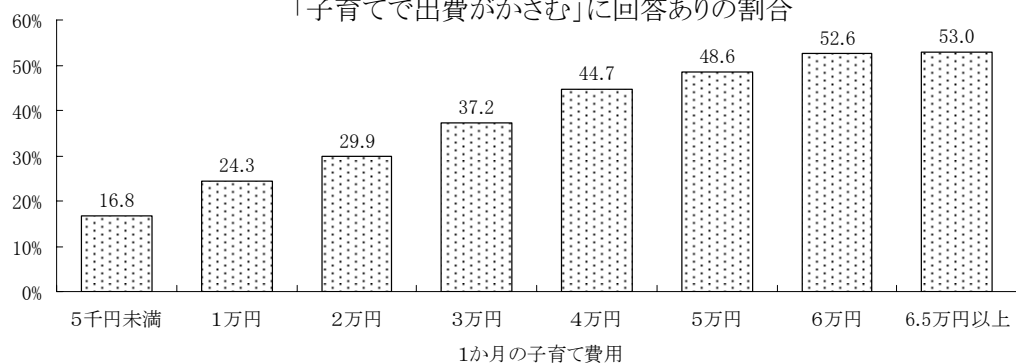
1か月の習い事の費用をみると「5千～1万円未満」が24.3%と最も多く、「1～2万円未満」が16.1%となっている。これを1か月の子育て費用の金額別にみると、子育て費用が高くなるほど習い事の費用が高くなる傾向がある。(図23)

図20 1か月の子育て費用の変化



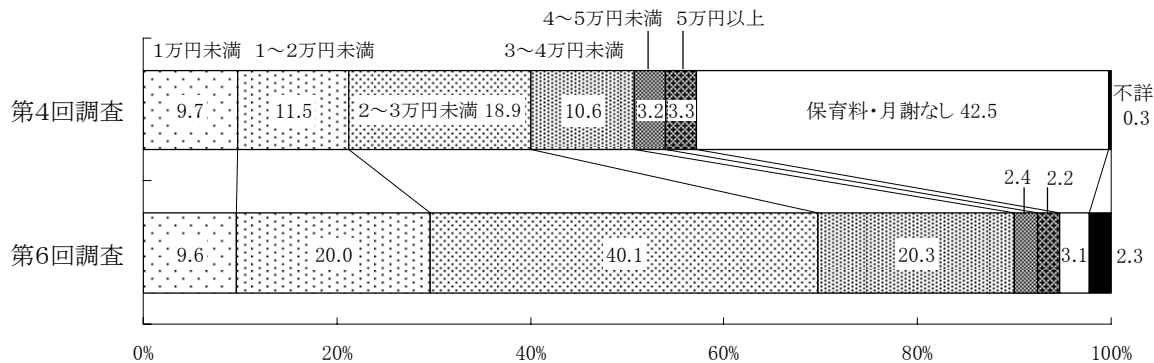
- 注：1) 第4回調査から第6回調査まで回答を得た者(総数 36,691)を集計。
 2) 1か月間の子育て費用は、万円単位に四捨五入した金額を調査しており、区分は以下のとおりである。
- | | | | |
|---------|----------------|-----------|----------------|
| 「5千円未満」 | 5,000円未満 | 「4万円」 | 35,000～44,999円 |
| 「1万円」 | 5,000～14,999円 | 「5万円」 | 45,000～54,999円 |
| 「2万円」 | 15,000～24,999円 | 「6万円」 | 55,000～64,999円 |
| 「3万円」 | 25,000～34,999円 | 「6.5万円以上」 | 65,000円以上 |

図21 1か月の子育て費用別にみた子どもを育てていて負担に思うことや悩みの「子育てで出費がかさむ」に回答ありの割合



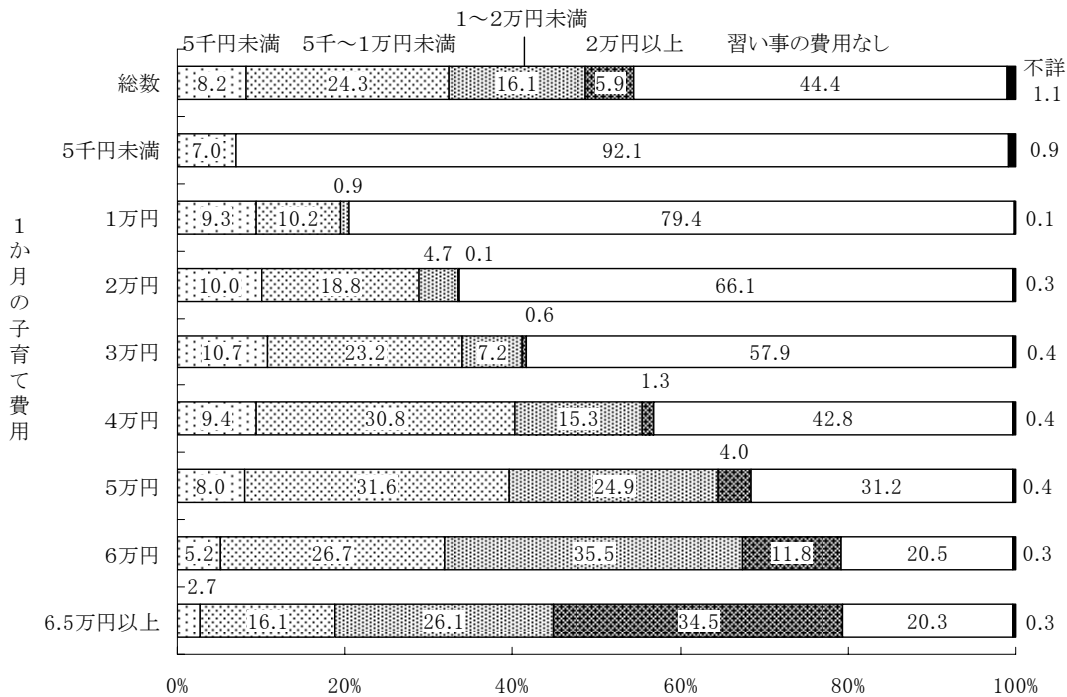
- 注：1) 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。
 2) 1か月間の子育て費用は、万円単位に四捨五入した金額を調査しており、区分及び総数に対する割合は以下のとおりである。
- | | | | | | |
|---------|------------------|-------|-----------|------------------|-------|
| 「5千円未満」 | (5,000円未満) | 0.6% | 「4万円」 | (35,000～44,999円) | 22.5% |
| 「1万円」 | (5,000～14,999円) | 4.7% | 「5万円」 | (45,000～54,999円) | 19.7% |
| 「2万円」 | (15,000～24,999円) | 11.3% | 「6万円」 | (55,000～64,999円) | 8.5% |
| 「3万円」 | (25,000～34,999円) | 20.0% | 「6.5万円以上」 | (65,000円以上) | 10.5% |

図22 保育所や幼稚園などの1か月の保育料・月謝



注：1) 第4回調査と第6回調査の回答を得た者(総数 37,932)を集計。
 2) 第5回調査は保育所や幼稚園などの1か月の保育料・月謝は調査していない。

図23 1か月の習い事の費用



注：1) 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。
 2) 総数には1か月の子育て費用「不詳」を含む。
 3) 1か月間の子育て費用は、万円単位に四捨五入した金額を調査しており、区分及び総数に対する割合は以下のとおりである。

「5千円未満」	(5,000円未満)	0.6%
「1万円」	(5,000~14,999円)	4.7%
「2万円」	(15,000~24,999円)	11.3%
「3万円」	(25,000~34,999円)	20.0%
「4万円」	(35,000~44,999円)	22.5%
「5万円」	(45,000~54,999円)	19.7%
「6万円」	(55,000~64,999円)	8.5%
「6.5万円以上」	(65,000円以上)	10.5%